

青少年環境教育交流セッション (SSP) 宣言

不確実な将来に挑んで

第9回世界閉鎖性海域環境保全会議が米国メリーランド州ボルチモアにて開催され、第4回青少年環境教育交流セッションに、日本、ペルー、アイルランド、米国から15名以上の学生、教師、環境科学研究者が参加しました。このようなすばらしい学びの場を提供していただき、心から感謝申し上げます。

世界は変化し続けています。電子的メディアの発達で私たちは個人的な生活の場において、家でも学校でも、この変貌する世界をリアルタイムで経験することができます。そして今回のEMECS 青少年環境教育交流セッションにおいては、セッションやフィールドトリップを通じてそのことを実感することができました。この変わりゆく世界は、私たちに感動を与えてくれると同時に不確実なリスクももたらします。これからの将来を引き継いでゆく者として、傍観者として見るならば、科学者、政策立案者、さらには教育者にいたるまでこの不確実性に安心感をもっている人は誰もいないのではないかということです。そしてこのことは、私たちにとってはチャンスでもあるのです。皆様が、事実や真実としてまとめようとしている事柄を将来の青写真として、私たちが受け入れてしまうことに皆様が不都合を感じているかもしれないからです。私たちが将来を形づくってゆく過程にもっと関わっていくべきです。しかしながらそのような機会はあまりに少ないと言わざるを得ません。いわゆるジェネレーションギャップは不透明な窓のようなものです。世代間の窓を通して行き来するものは有用で多くの情報を提供してくれますが、また選択的なものでもあるからです。

私たちは、科学者、政策立案者、公務員、教育者、沿岸コミュニティ、青少年たちがより協力し合い、コミュニケーションを密にしてゆくことを心から願い求めています。そのような努力により、必要な知識とツール、さらには重みのある決意がなされ、沿岸システムの改善につながると確信します。

科学者の皆様に、お願いしたいのは、心躍るような発見をインターネットに載せたり、出版するだけでなく、どうぞ私たちと共有してほしいということです。しばしばそうした発見の中には、否定的なものもあるでしょう。たとえば漁獲高が減少している、汚染が進行している、沿岸海域の情報が芳しくない等です。でも、うまくいっていることも多々あるでしょう。それらすべてとどうぞ分かち合ってください。私たちの学校の教室に来てください。皆様のフィールド（分野）に、私たちを連れて行ってください。皆様と一緒に私たちが協力できるような機会を増やせるように声をあげていただきたいのです。

政策立案者、公務員の皆様にぜひお願いしたいことがあります。うまくいかなかったプログラムや原油流出事故の真の理由が不確実で予知できなかったという説明でなく、正直に真の理由を教えてください。人の気持ちをひとつにして、沿岸海域の問題のみならず環境問題全般の解決に当たれるリーダーシップのとれる人についていきたい、そしてその行動に喜んで参加したいのです。

教育者の皆様には、単なる事実以上のことを教えてほしいと思います。不確実なことを見分けるために、大量の情報があふれる中、私たちをして意味のある行動をとらしめるためには、自主的にスキルを身につけていく必要があると思います。その答えを身につけるために情報の海の中をどう舵を取るのか教えてください。

沿岸域のコミュニティの皆様には、ご自分たちのお住まいの海域の部分成していることを理解してほしいと思います。しばしば、沿岸域の住民の皆さんは、あたかも自分たちは自然環境から切り離されているかのように振る舞い、すべての環境問題は技術さえあれば解決できると思っておられます。私たちの目には、それはリスクを高め、不確実な出来事が結果として、大きな災害に結びつくように見えます。このようなコミュニティには住みたくありません。むしろ変革していき、その変化が永続的なものになるよう努力します。

若い人たちに、ぜひお願いしたいことがあります。コミュニティ活動により積極的にかかわりたいと思い、継承する世界をより良くするための努力をしたいという気持ちをもって、意見の食い違いがあっても、ご両親、仲間、近隣の人たちと建設的な話し合いをしてください。もっといっしょに力を合わせて、不確実なものが、私たちに与えようとしている機会は何なのかを明らかにするために共に取り組もうではありませんか。責任を果たすことは解決策の一部を残すと認識すべきです。

沿岸コミュニティの環境問題に対する解決策を継続的に探し、提案し、実践していきましょう。大人の皆様方が、懸命に働き、私たちへの手厚いケアを授けてくださったおかげで、健康にも恵まれ、住む家にも困らず、十分な保護もうけてきたことに感謝しています。今度は皆様方と私たちの間にある曇った窓を打ち破る手助けをしていただけませんか。手を伸ばして、私たちを導いてください。皆さん方が築いてくださったものを礎に、不確実な将来に挑んでいきます。

アメリカ合衆国 ボルチモア市
2011年8月31日
(事務局仮訳)